

コロナ時代の病院の上手なかかり方

コロナも流行してから一年がたち、全然コロナとは仲良くはしたくないのですが、本当に with コロナの時代になってしまいました。医療機関でのクラスターも多く、気軽に医療機関にいける国民皆保険、フリーアクセスの本邦の制度の問題点もみえてきたと思います。

医療機関には感染症を含め、具合の悪い方が来られるところですから、いままでも院内感染には気をつけてきていますが、コロナは無症状で本人も自覚しないうちに人に感染させてしまうことがあり、その完全な防御は困難といえます。

感染経路を抑えるには感染者と場所を分ける空間分離と時間を分ける時間分離の方法がありますが、大きな病院ならともかくスペースに限りのある我々のような診療所では時間分離が中心になります。いずれの場合であっても、ご案内する場所や時間を調整しなくてはなりませんので、発熱、咳、これらがなくてもコロナ感染の疑いや不安のある方は まずはお電話で相談をお願いします。これは市立病院を受診するときも同じですし、コロナに限らず、他の麻疹などの感染力の強い疾患でもお願いいたします。当院では状況をお聞きして、必要な際は発熱外来や単独で診療できる時間をご案内しております。(必要があれば、PCR 検査も対応しております)

またコロナに限りませんが、はじめの医療機関でよくなるからとすぐ別の医療機関や別の科に相談される方がおられます。しかし、どんな名医でもなかなか一発目で診断と治療にたどり着くことは難しく、症状の変化や薬の反応の経過をみて、診断をつけていきますので、少なくとも 2 回目までは同じところに相談するのが診断の近道です。(まあ、あまりにその医者との相性が悪くて、2 度と会いたくないということもあるかもしれませんが・・・) 特に 1 回目の医療機関での検査や処方内容(お薬手帳、診療明細など)の情報がないと、問診から検査もやり直して、時間と医療費も無駄遣いになります。一方で、普段の状況を知るかかりつけ医であれば、今までの経過との比較でより早く、安く(余計な検査もしないで)診断にたどりつけると思います。また自分の手に余るようであれば、病院や専門医に紹介しますし、病院のほうもかかりつけ医からの紹介情報があると、診断・治療がスムーズです。

コロナも保健所でなく、かかりつけ医にまずは相談ということになっており、診療までは無理でも電話相談は大丈夫というところも多いので、あわてて来院される前にお電話での相談をお願いいたします。

発熱外来について

- ・ 11 時半～と 17 時～を発熱やコロナ感染症疑いのある方の対応時間としています(原則当院かかりつけの方が対象です)
- ・ 発熱、咳などのある方は必ず事前にご連絡いただき、受診時間の相談をお願いします
- ・ 該当患者さんの診察中は一般の方の診療はお待ちいただきますのでご了承ください(発熱患者さんがおられないときは、通常診療いたします)